学校番号	T0207

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	高校美術（日本文教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・美術１では、ただ「描く」のではなく、色々な素材を使い、「考え・創造する」ことを目的として授業に取り組みます。
・中学美術で習った知識や技法を活かし、発展させ、自分自身で考え創造する力を養いながら表現し、取り組むことができるように各課題を展開していきます。
・作品完成後は振り返りレポートや相互批評を行い、作品に対する客観的な視点や相互理解を深める鑑賞などの学習をします。

2　学習の到達目標

・美術の創造的な諸活動を通して、美術の体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・形や色彩、画面構成など、課題内容を理解し、主題に沿った表現がおこなえている。 ・材料や用具などの特性を活かした表現方法を工夫している。	・造形的な良さや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、発想や構想を練り、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深める。	・新たな気付きや視点を表現に組み入れながら活動に取り組めている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	砂絵	【絵画】【デザイン】【鑑賞】 ・テーマの設定 ・構想を練る アイデアを考え、下絵を考える。その際、カッターナイフを用いてシートをはがしながら砂を配置していくという手順をしっかりと理解し、12 色の砂を混色しながら色を作り完成のイメージに近づけるように制作を進める。 ・お互いの作品を鑑賞し、意見交換をし、振り返りシートに書き込む。	a:多様な絵画表現に興味関心を持ち、また、様々な表現方法について知る。砂絵制作のために必要な知識を理解し、制作に取り組むことができる。 b:カッターナイフを使いこなし、その技術で、作品を効果的制作することができる。また、限られた砂を混色することにより、新たに独自の色を作り出し作品に活かすことができる。 c: 振り返りシートをもとに、主体性をもって活動や取り組みについて記入することができる。	ワークシート 作品 振り返りシート	取り組み状況 作品 振り返りシート	ワークシート 作品 振り返りシート
	ペン画 ゼンタングル	【絵画】【デザイン】【鑑賞】 ・教科書をとおして、色々な作品を鑑賞し、表現の幅を広げる。 ・ペン画(ゼンタングル)を理解し、テーマを設定し、取り入れるモチーフを考え画面構成をする。 ・制作 作品に書き込むオリジナルの模様も取り入れながら全体のバランスを考え取り組み、必要に応じ、色鉛筆で色を付ける。 ・お互いの作品を鑑賞し、意見交換をし、振り返りシートに書き込む。	a:設定したテーマに沿ったモチーフを取り入れ画面構成をし、ゼンタングルを理解し、作品制作に取り組むことができている。 b:自身でイメージしたテーマを表現するために、考え・工夫し、創造的な表現の構想を練り取り組むことができている。 c:振り返りシートをもとに、主体性をもって活動や取り組みについて記入することができる。	ワークシート 作品 振り返りシート	取り組み状況 作品 振り返りシート	ワークシート 作品 振り返りシート

後期	アートガラス	【絵画・彫刻】【鑑賞】 ・テーマの設定 ・構想を練る アイデアを考え、下絵を考える。その際、白黒が反転することをしっかりと理解する。 ・完成のイメージをもとに、スクラッチ技法で明暗を的確に表現する。 ・お互いの作品を鑑賞し、意見交換をし、振り返りシートに書き込む。	a:多様な絵画表現に興味関心を持ち、また、様々な表現方法について知る。ニードルで削り出しながら表現する技術を理解する b:ニードルを使って、スクラッチをする技術を理解し、作品を効果的に制作することができる。 c: 振り返りシートをもとに、主体性をもって活動や取り組みについて記入することができる。	ワークシート 作品 振り返りシート	取り組み状況 作品 振り返りシート	ワークシート 作品 振り返りシート
	エコバッグ・消しゴムハンコ	【絵画・彫刻】【デザイン】【鑑賞】 ・エコバックのどこに・どのように図案を配置するかを考える。 ・消しゴムハンコのデザインを考える。その際、エコバックに連続模様のように押すことも考慮し、デザインをする。 ・彫刻等を用いて消しゴムの彫刻をする。 ・何度か試し押しをしながら、再度デザインを確認した後、エコバックにハンコを押す。	a:実際に使用するものにデザインを施すためのデザイン性を学ぶ。消しゴムハンコを作るうえでの技術を理解する。 b:彫刻刀を使いこなし、思い通りのハンコを作ることができる。また、エコバックに効果的にハンコを押し、作品を完成させることができる。 c: 振り返りシートをもとに、主体性をもって活動や取り組みについて記入することができる。	ワークシート 作品 振り返りシート	取り組み状況 作品 振り返りシート	ワークシート 作品 振り返りシート

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度